

プロジェクト型学習の授業デザイン手法の開発

関連キーワード: 探究学習 情報活用能力 教員研修

研究内容

・探究学習の実施手法の1つであるプロジェクト型学習（PBL）を実践する際の授業デザインを支援する手法を開発しました。小学校～高校まで広く活用されています。

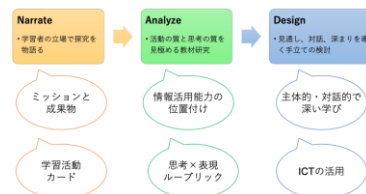
特徴1「学習活動カード」の使用

26種類のカードにより、教員が探究学習の単元の見通しをもつことを支援します。児童生徒が使用する事例もあります。



特徴2 デザイン思考に基づく設計プロセス

デザイン思考として、Narrate（探究の物語を構想する）、Analyze（学習に必要なスキル、学習の質を明確にするルーブリックの開発）、Design（主体的・対話的で深い学びのための指導方法、ICTの活用）のプロセスで授業を設計することで、学習者主体の授業づくりを支援します。



特徴3「ルーブリックバンク」の提供

プロジェクトのアイデアとともに評価基準であるルーブリックを蓄積・検索・共有できるルーブリックバンクを提供しています（2024年現在で約1500事例）。

ルーブリックバンク

このサイトでは、東北学院大学の教員「ルーブリックバンク」を構築・提供しています。このサイトで検索・閲覧・共有することができます。検索・閲覧・共有は、すべて無料です。

分野	2024年	2023年	2022年	2021年	2020年	2019年
総合	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
国語	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
算数・数学	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
理科	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
社会	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
外国語	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
芸術	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
体育	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
職業	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
その他	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000

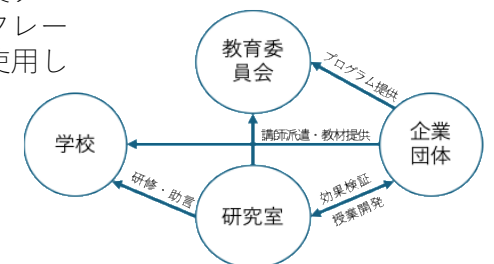
研究者プロフィール

- ・文学部 教育学科 教授 氏名 稲垣 忠
- ・専門分野 教育工学・情報教育
- ・研究分野
- ・所属学会 日本教育工学会・日本教育メディア学会
- ・主な経歴、著書 など
- 「教育の方法と技術Ver.2 IDとICTでつくる主体的・対話的で深い学び（北大路書房）」
- 「探究する学びをデザインする！情報活用型プロジェクト学習ガイドブック」（明治図書）ほか



地域・産学官連携の可能性、事業化のイメージ他

- ・教育委員会、学校現場を対象とした教員研修等を引き受けています。
- ・社会教育、企業等が学校に授業プログラムを開発・提供する際のフレームワークとして本研究成果を使用していただくことができます。



研究者への連絡先

- ・Email : tinagaki@mail.tohoku-gakuin.ac.jp
- ・Webサイト : <http://www.ina-lab.net/>